令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立岸里小学校の結果概要

【国語】
本校の平均正答率は49%で、市平均正答率は59%、全国平均正答率は60.9%だった。（対全国比0.80ポイント）
【算数】
本校の平均正答率は42%で、市平均正答率は56%、全国平均正答率は56.4%だった。（対全国比0.74ポイント）

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】
いずれの領域においても、平均正答率は全国や市を下回っている。
「情報の扱い方に関する事項」については、全国平均に最も近かったが、「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、全国や市平均を大きく下回った。
「問題形式」では、短答式で、全国や市の平均を大きく下回った。
【算数】
いずれの領域においても、平均正答率は全国や市の平均を下回っており、特に「図形」に大きな課題がみられた。

質問調査より

「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」「あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか」「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」について、いずれの回答も対全国比マイナス１０%以上であることを踏まえて、教師が主導する授業から、児童が主体的・対話的に協働的に学びあう授業への改善の必要性が強くうかがえる。

今後の取組（アクションプラン）

【国語】漢字の学習をはじめとした学習活動全般において、すべての子どもが学びを深めるために、自分と他者の意見を比較したり、聴き合ったりする取り組むを行う。その結果、お互いのことを理解しあうなかで高め合う関係づくりを行い、他者理解を深めることで、学習活動の充実を図る。
【算数】誤答を含めた自分の考えを伝える協働的・対話的な学びを授業の中心に置くことで、自分の間違いに自分事として気付くことができたり、自分の考えを伝えること、他者に聞いてもらえることによって、わからなさを解消できたりする児童主体の授業づくりに取り組む。

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立岸里小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区　　名	西成区
学　校　名	大阪市立岸里小学校
学 校 長 名	庄司　量士

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和８年４月に、６年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

１　調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２　調査内容

(1)　教科に関する調査

・国語

・算数

(2)　質問調査

・児童に対する調査

・学校に対する調査

３　調査の対象

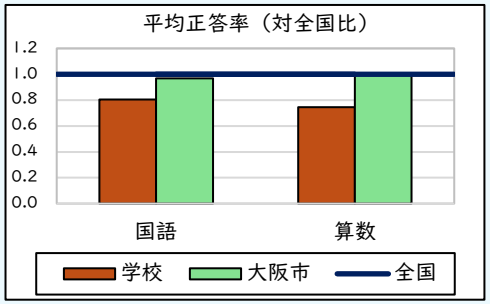
・国・公・私立学校の小学校第６学年の原則として全児童

・大阪市立岸里小学校では、第６学年　56名

令和８年度　全国学力・学習状況調査　教科に関する調査結果の概要

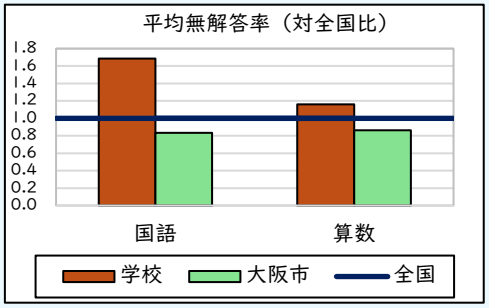
平均正答率（%）

	国語	算数
学校	49	42
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



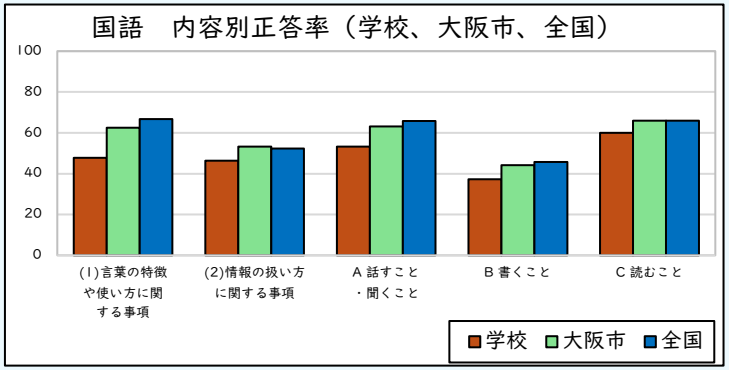
平均無解答率（%）

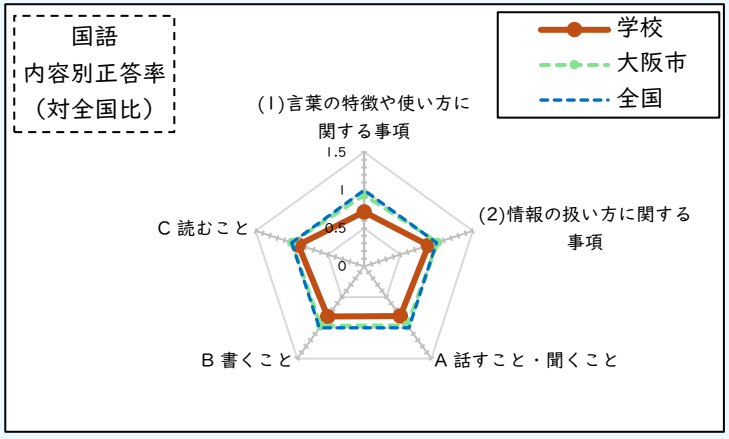
	国語	算数
学校	5.7	3.7
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



【国語】内容別正答率

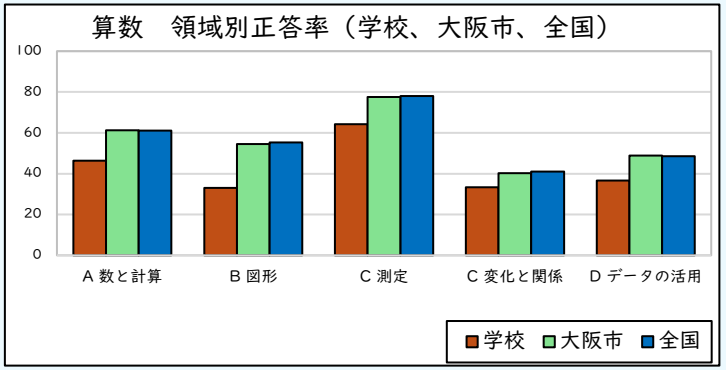
学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	4	47.7	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に関する事項	2	46.4	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	－	－	－
A 話すこと・聞くこと	3	53.3	63.1	65.8
B 書くこと	2	37.3	44.2	45.7
C 読むこと	2	60.0	66.0	65.9

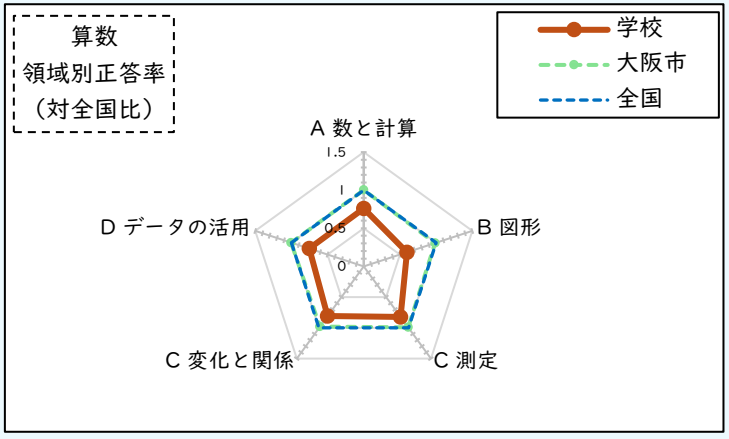




【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	46.4	61.2	61.1
B 図形	4	33.0	54.5	55.3
C 測定	1	64.3	77.5	78.1
C 変化と関係	3	33.3	40.3	41.1
D データの活用	4	36.6	48.8	48.6

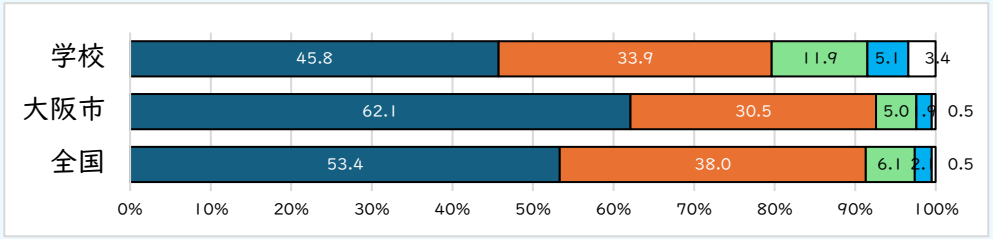


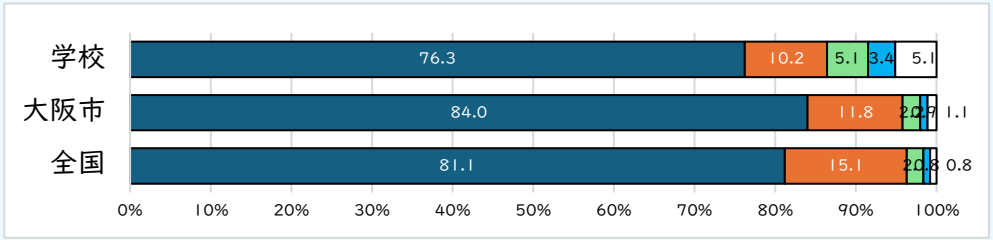


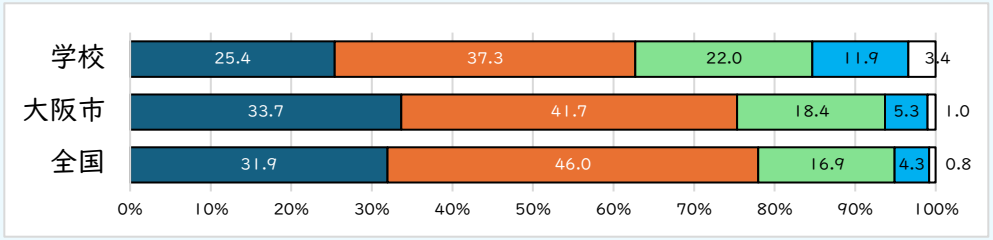
令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より

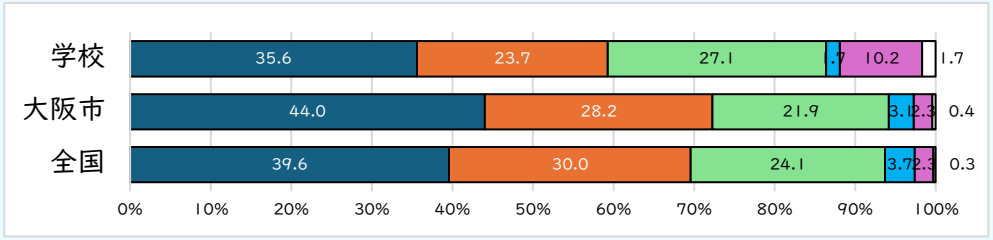
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

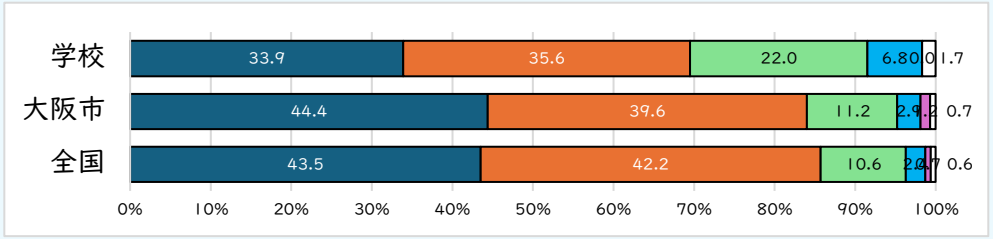
質問番号	質問事項
（９）	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
（１２）	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
（１６）	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
（２０）	あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか
（４２）	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか











1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらともいえない
4 どちらかといえば、当てはまらない
5 当てはまらない

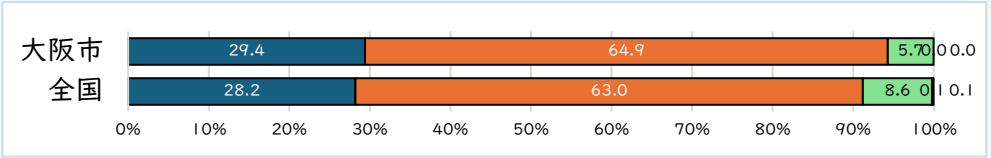
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない

令和８年度全国学力・学習状況調査　学校質問調査より

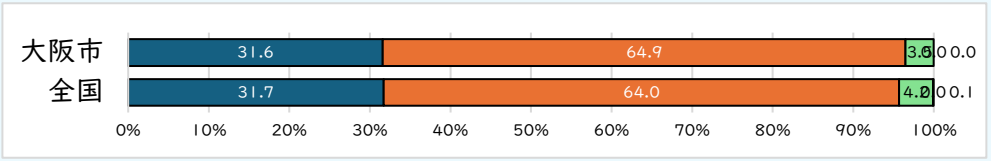
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

質問番号	質問事項
（31）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか
（46）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、国語の授業で、児童に学習の状況について改善すべき点を伝え、改善できるように手立てを講じることを行いましたか
（51）	調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、問題の答えを求めさせるだけではなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、根拠を明確にして児童に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか
（52）	調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、授業で、学習上つまずいた児童に対する対応を行えていましたか
（22）	特定の教員が学級担任を務めるのではなく、複数の教員が共同で学級担任を務める体制（いわゆる、チーム担任制、グループ担任制）を実施していますか

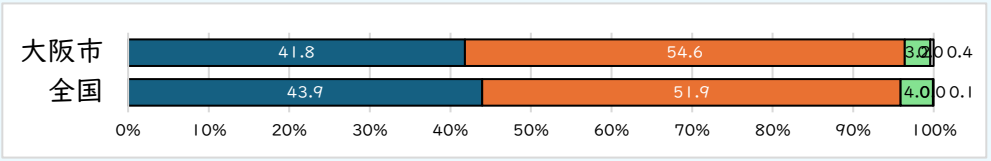
【学校の回答】　2　どちらかといえば、行った



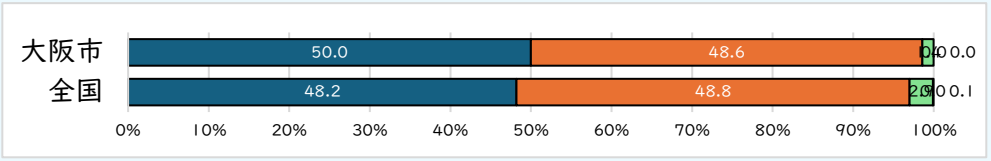
【学校の回答】　2　どちらかといえば、行った



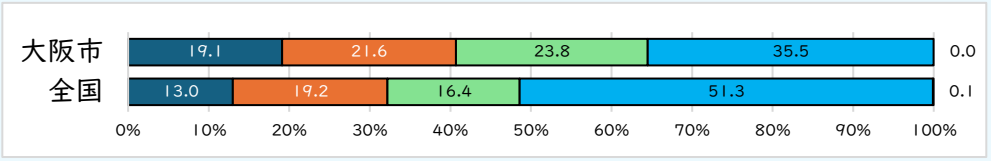
【学校の回答】　2　どちらかといえば、行った



【学校の回答】　3　あまり行えなかった



【学校の回答】　1　全学年で実施している



1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

1 よく行えた
2 どちらかといえば、行えた
3 あまり行えなかった
4 全く行えなかった

1 全学年で実施している
2 一部の学年で実施している
3 実施に向けて検討している
4 実施していない